



野球部の健闘・・・3年生最後の熱い夏

第108回全国高等学校野球選手権長野大会が7月4日に開幕し、野球部が2回戦から登場して、会場の長野オリンピックスタジアムで熱戦を繰り広げました。

4人の3年生 総勢26名の部員のうち、3年生は選手2名、マネージャー2名で活動してきました。男子は主将、副主将として苦労しながらチームをまとめてきました。女子は練習や試合の補助中心にチームを支えてきましたが、大会でもユニフォームを着て2人とも試合前のシートノックを打つなど、全員が活躍の場を得て力を発揮することができました。

2回戦サヨナラ突破 シード校相手に初回に4点を先制される苦しい展開でしたが、終盤の連打や四球などで9回裏に追いつきました。そして、延長10回の守りを無失点で凌ぎ、その裏の初めての勝ち越しがサヨナラとなりました。最後まで全員で粘ることができた末の勝利でした。

3回戦大健闘 相手校の先制攻撃にリードを許す展開となり、5回終了時には7点差をつけられる苦しい戦いとなりました。しかし、クーリングタイム後の6回、球威の落ちた相手投手に対して、お手本のようなバッシングで連打を浴びせ、3点差まで詰め寄りました。本校の投手陣は15安打を浴びながらもよく粘り、終盤の追撃を待つことになりました。打線は、相手校の2番手投手が投じる130km/h後半の直球にも果敢にスイングしていましたが、結果は5-15で敗れました。新監督による指導の下、チームが一丸となって春の課題克服に取り組み、ここまでよく頑張ったと思います。保護者の皆さまをはじめ多くの方々の応援、ご支援に改めて感謝申し上げます。夢の続きは下級生に期待します。



試合前シートノック



3年生マネージャー

(県高野連冊子より)



粘投する主戦投手



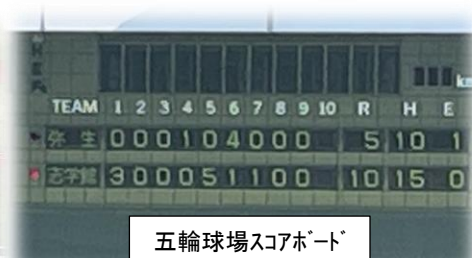
追撃する打線



応援席の盛り上がり



応援席への御礼



五輪球場スコアボード